

J-HOP 2 0 2 0

組織および委員会・部会活動内容

事務局

事務局長：長谷川 寛

【活動内容】

- ①円滑な会務運営のサポート
 - ・ 会議、会員管理、等
- ②渉外対応窓口
担当：大澤 光司（メディカルグリーン）
- ③学生対応窓口
担当：佐々木 健（ファーマケア訪問薬局）
- ④その他庶務実務

総務委員会

委員長：益満 健雄

【活動内容】

- 総会・理事会の開催・運営
- 規程・細則の整備
- 選挙ルールの策定

委員長：益満 健雄（マスミツ薬品）

委員：久田 邦博（しあわせです感謝グループ）

委員：大隅 寛之（市ヶ尾病院）

委員：中西 裕道（徳永薬局）

財務委員会

委員長：山丸 淳司

【活動内容】

- 予算の再編成
- 収入を増やす方法の提案
- 支出を細かく見直し支出減への提案

担当副会長：小林 輝信（徳永薬局）

委員長：山丸 淳司（やままる薬局）

委員：湯川 仁（仁天堂薬局）

委員：菊池 幸助（日出調剤薬局）

教育研修委員会

委員長：三浦 輝久

【活動内容】

- 第4回全国在宅医療医歯薬連合全国大会（J-HOP第11回研修会）開催に向けた準備
- 各ブロック研修会開催支援
- Web研修会開催について検討および実施
- 他委員会（ICT、災害対策、小児在宅など）との研修会共同開催について検討および実施

教育研修委員会

委員長：三浦 輝久

担当副会長：川添哲嗣

(高知大学医学部附属病院)

委員長：三浦輝久

(ファルマステップ)

委員：坂本岳志

(あけぼの薬局メディカル店)

委員：雑賀匡史 (千葉市薬剤師会)

委員：小林篤史 (ゆう薬局)

委員：大森眞樹 (きらきら薬局)

【ブロック委員】 * 委員兼任

北海道ブロック

橋場剛 (日本調剤在宅医療部)

東北ブロック

赤尾眞 (米沢市立病院 薬剤部)

北陸ブロック

丸一泰雅 (若葉らいふ薬局)

北関東ブロック

* 坂本岳志 (あけぼの薬局メディカル店)

南関東ブロック

* 雑賀匡史 (千葉市薬剤師会)

東海ブロック

平田敦子 (さんあい薬局)

甲信越ブロック

樋口大河 (有限会社ホウライ)

近畿ブロック

* 小林篤史 (ゆう薬局)

中国四国ブロック

浦上勇也 (スター薬局大野原店)

中国四国ブロック

富永圭司 (国府調剤薬局)

九州沖縄ブロック

* 大森眞樹 (きらきら薬局)

調査研究委員会

委員長：萩田 均司

【活動内容】

1. 会員の調査研究サポート

- ① 調査研究を行う意欲のある会員を把握する
- ② 調査研究を行うための講習会の開催（web？）
 - ・ 量的研究、質的研究ともにサポートできるような体制をつくる。
- ③ J-HOPをフィールドとしても提供

2. 委員会としての調査研究

- ① COVID-19関連
 - ・ チェックリストを会員向けに2020.5に作成
 - ・ 今後の展開についての検討も必要
- ② 在宅医療にかかわる薬局薬剤師の役割と実践（首都圏の薬局に勤務する薬剤師対象）
 - ・ 菊地がすでに研究計画書を提出し承認を得ている。

調査研究委員会の活動目的は、在宅医療に関する薬剤師の業務に関する様々なことを、調査研究を通してエビデンスを作っていくことが最大の目的でもある。

調査研究委員会

委員長：萩田 均司

担当副会長：宇都宮 励子（大阪ファルマプラン あおば薬局）

委員長：萩田 均司（ヤマグチ薬局 内郷店）

副委員長：菊地 真実（帝京平成大学 薬学部）

委員：田口 真穂（横浜薬科大学）

委員：七海 陽子（セブンプロジェクト）

委員：藤田 健二（シドニー大学）

ICT委員会

委員長：堀籠 淳之

【活動内容】

- オンラインイベント育成・プロジェクト
- 在宅基礎研修、ケアカフェ、コロナ対策研修
- ICT活用による会議研修会開催のブラッシュアップ
- Web理事会、総会のサポート

担当副会長：川添 哲嗣（高知大学医学部附属病院）

委員長：堀籠 淳之（中央薬局）

委員：原崎 大作（はらさきや 本部）

委員：藤田 あゆみ（スギ薬局 医療営業統括部）

委員：奥村 智宏（はぐろ薬局 大口店）

広報委員会

委員長：井手口 直子

【活動内容】

- ・ 会報誌、パンフレットの編集
- ・ 会の活動をメディア、多学会等へ紹介
- ・ その他新たな広報を考案、実行する
- ・ 各ブロックに広報担当をおいてもらうようにし、連携する。

委員長：井手口 直子（担当副会長兼務：帝京平成大学 薬学部）

委員：久田 邦博（しあわせです感謝グループ）

委員：千代延 誠治（神埼薬局）

研究倫理委員会

委員長：倉田 なおみ

【活動内容】

- 調査研究の倫理規定、マニュアル等の見直し・修正
- 調査研究の倫理審査

担当副会長：井手口 直子（帝京平成大学 薬学部）

委員長：倉田 なおみ（昭和大学 薬学部）

委員：鈴木 順子（北里大学 薬学部）

委員：三溝 和夫（望星薬局）

委員：赤羽根 秀宜（中外合同法律事務所）

※他、外部委員4名

災害対策委員会（新設）

委員長：稲葉 一郎

【活動内容】

- 災害時の在宅患者への支援の在り方を検討する。
- 他職種、他団体と協力して災害時に在宅支援の在り方を検討提案する。
- 災害時における会員の 互助の仕組みを構築する。
- 災害時の会員薬局への人材支援の仕組みづくり。
- 在宅ケアアライアンスの中で他の団体と一緒にになって社会からのニーズに対応し活動をする。

災害対策委員会（新設）

委員長：稲葉 一郎

担当副会長：宇都宮 励子（大阪ファルマプラン あおば薬局）

委員長：稲葉 一郎（ハートフェルト）

副委員長：丹野 佳郎（石巻薬剤師会）

委員：木村 雅彦（サンメディカル あけぼの薬局）

委員：金田 崇文（こやま薬局）

委員：水 八寿裕（ふくろうメディカル、東京理科大学 薬学部）

オブザーバー：鈴木 順子（北里大学 薬学部）

入退院支援部会（新設）

部会長：赤尾 眞

【活動内容】

- 病院薬剤師の立場での地域との関わりを検討できる部会として活動する。
- 現在、病院の中では退院調整看護師が入院した時より患者へ介入し、自宅退院困難であるかどうかなど評価をして退院後の連携の橋渡しまで行っている。病院薬剤師としても退院後の地域に帰えることを見据えた入院中からの連携ができる薬剤師を病院に一人は配置したい。その方法などを検討する。
- 出来れば何らかの記事投稿などに活動報告等を行ないたい。

入退院支援部会（新設）

部会長：赤尾 眞

担当副会長：川添 哲嗣（高知大学医学部附属病院）

部 会 長：赤尾 眞（米沢市立病院 薬剤部）

部 員：大隅 寛之（市ヶ尾病院）

部 員：武藤 浩司（新潟市民病院）

部 員：岸本 眞（霧島市立医師会医療センター）

小児在宅医療部会（新設）

部会長：海老原 毅

【活動内容】

- 小児在宅医療における問題点の抽出
- 他職種、他団体の情報収集
- 2021年度以降の活動計画作成

担当副会長：小林 輝信（徳永薬局）

部 会 長：海老原 毅（心身障害児総合医療療育センター）

制度部会（新設）

部会長：大木 一正

【活動内容】

- 在宅患者が急増する中で今後在宅に関わる薬局が継続できる体制を築く。
- 診療報酬改正も視野に入れ活動。
- 在宅医療の均てん化。
- 病院と薬局の在宅医療の連携が今後重要となる。
併せて、J-HOP小児部会と病院在宅部会との連携も進めていく。

制度部会（新設）

部会長：大木 一正

担当副会長：小林 輝信（徳永薬局）

部会長：大木 一正（クリーン薬局）

部員：長谷川 寛（日本調剤在宅医療部）

部員：豊見 敦（日本薬剤師会）

部員：根本 ひろ美（ねもと薬局グループ よしの薬局）

部員：高橋 眞生（カネマタ 本部）

オブザーバー：宇田 和夫（株式会社ファーコス）

オブザーバー：林田 啓一（日医工株式会社）